

T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ 88号

発行責任者：事務局長 内田 毅

事務局：岡山市中区福泊 168-7 内田方

TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726

e-mail : utida244@yahoo.co.jp

主な内容

2面 退任にあたって（上月前理事長）

岡山県春期合唱講習会

3面 ウィーン演奏旅行（コーログリーチネ）

4面 音楽著作権アラカルト

事務局通信（行事予定・理事会）

あいさつ

岡山県合唱連盟理事長

小池 芳弘

みなさん、こんにちは。今年度より理事長に就任しました小池です。新年度がスタートし、このトゥッティが発行される頃には、春期講習会、合唱フェスティバルの行事が終了していると思いますが、あらためまして、4月19日の定例総会であいさつを申し上げたことを、この紙面をお借りしたいと思います。

「私、小池は、昭和54年より連盟に関わってきました。今まで、故・糸賀英憲先生、名誉会長である近藤安个先生、前理事長で現会長の上月明先生の元、多くのことを勉強させていただきました。

今は閉園した倉敷チボリ公園を絡めたおかあさん全国大会や、岡山シンフォニーホール開館の年の全日本合唱コンクール全国大会、晴れの国岡山国体、そして国民文化祭と、さまざまな大きな行事を経験させていただきました。

平成16年、副理事長に任命され、以後、5期10年、中国理事として支部の仕事に携わってまいりました。歴代の素晴らしい先生方の活躍を思うと、理事長という重責は、私にとりまして、立場を全うできるかとても不安です。しかしながら三名の副理事長、部門選出の理事、そして今年度より新しく四名の常任理事を加え、心強い理事会体制に助けていただきながら、連盟に尽くしていく所存です。連盟会員の皆様、どうぞよろしくお祈りします。

さて、ここで3つのことを初心の表明をし、皆様にお祈りしたいと思います。

まず、「風通しのよい岡山県合唱連盟」にしたいことです。諸行事の運営のあり方など、改善点や気がついたことは、個人や団体にとどめないで連盟全体の問題として共有していきたいと思っております。特に、講習会については所属する部門に偏らず、加盟団体全体のレベルアップに繋



がる内容について、ご意見をいただきたいと思っております。次に、「各団体をお互いにもっと知る」ということです。他の団体の演奏会に行き、情報交換を持ちましょう。合唱フェスティバルは、参加ブロックだけでなく、多くの演奏を聴きましょう。連盟主催の行事や関連の催しに、できるだけたくさんの連盟会員の参加をお願いします。

最後に、「元気な岡山県を全国に発信」することです。今年11月29、30日と第3回全日本男声合唱フェスティバルが岡山シンフォニーホールで開催されます。平成28年には、中国合唱コンクール、そして平成29年にはおかあさん全国大会を岡山に誘致しております。また、この年が岡山県合唱連盟70周年の年になります。大きな行事が目白押しで、運営スタッフとして会員の皆様には大変なご苦勞をおかけしますが、晴れの国岡山の元気な姿を、全国の5000団体を超える仲間たちに届けましょう。

総会の挨拶にあたり、以上の3点をお願いし、あいさつといたします。どうぞよろしくお祈り申しあげます。

【編集後記】

Tutti 88号がやっと発行できました。合唱フェスに間に合えばと頑張りましたが、少し及びませんでしたね。さて、新年度が始まり2か月、二つの事業が終わりました。新理事会もごちなさを残しながらも動き出しました。何か新しいことをとを考えていましたが、早くも来年の合唱フェスの講評者が一人決まりました。

辻 秀行先生、故辻全日本副理事長のご子息ですが、脇本常任理事から話をいただき、とんとん拍子に講習会まで含めて話が決まりました。来年も楽しみですね。

さて、Tuttiの発行時期をお知らせしておきましょう。今年は昨年より一か月づつ遅らせて発行する予定です。つまり、次は8月、そして11月、来年2月です。皆様からの情報、原稿を幅広くお待ちしておりますので、積極的に事務局までお寄せください。メールでいただくと助かります。（事務局長 内田 毅）

退任に当たって

前岡山県合唱連盟理事長 上月 明

12年間の長きにわたり、岡山県合唱連盟理事長として大変お世話になりました。このたび役目を終えるにあたり一言お礼を申し上げます。在任期間中に全日本合唱コンクールの全国大会や中国支部大会等、全日本合唱連盟関係の大きな行事が何度かありましたが、見事な運営で組織としての力を十分発揮していただきました。また嬉しいことに、全日本合唱コンクールの全国大会に出場して立派な成績を残したり、お母さんコーラスの全国大会でひまわり賞を獲得したり、いくつかの合唱団は全国的な活躍をしてくださいました。その他強く印象に残っているのは、約50年ぶりに開催された岡山国体の開会式です。開会式の練習では、小雨模様の時もありましたが、多くの皆さんが参加して国体を盛り上げてくださいました。また、岡山

県で初めて開催された国民文化祭での合唱の祭典も印象深い行事でした。合唱の祭典は、岡山シンフォニーホールで開催し、信長貴富先生に委嘱した「どんたくー竹久夢二の八つの小唄一」を、300人を超える国民文化祭おかやま2010記念合唱団で初演の演奏をすることができました。こうした歴史に残る行事を二つも経験させていただき、大変思い出深い12年となりました。

岡山県合唱連盟の運営では何かと至らぬ事が多かったと思いますが、皆さん方に協力していただいたことは感謝に堪えません。小池新理事長の下、岡山県の合唱が益々盛んになりますよう、新しい体制で一致団結して力強く前進されることを期待いたしています。

《事業報告》

今年も5月に河合先生の発声法講習会が高梁会場(10日)と岡山会場(11日)で開催された。両会場とも120人ほどの受講者があり、河合先生の熱心なご指導に引き込まれていった。受講者の中から伊藤さんに感想を書いていただきました。

「岡山県春期合唱講習会」を受講して

コール・サファイア 伊藤むつ子

歌の基本は発声と知りつつも、どうしたら共鳴した声で気持ちの良いハーモニーを響かすことができるのか。久しぶりに合唱講習会に出席した。会場のさん太ホールに入ると、ステージ上のホワイトボードには既に[声楽発声の共鳴腔と会話発声の共鳴腔]の図が描かれており、見れば共鳴腔の差が歴然、その差は約3倍とか。

小池新理事長から講師河合孝夫先生のご紹介があり[合唱の効率的な練習]が始まる。

まず、合唱を上手にする六つの要素とそのチェックポイントを河合先生は「歌は口では説明できません。声のみでしか説明できません」と次々実演しながら進めていかれる。そのどれもが大切な内容ばかりで何度へへ！と驚き感動したことでしょう。よく共鳴した正しいハミングの振動は気持ちよく心の中に入ってくる。「これがメッサデヴォーチェです」温かい笑顔で言葉巧みに楽しく、面白く、わかり易く、声を使っての説明は感心することしきり。先生は各パートを足早

に回りながら、間近にその声を聴かせて下さり首のポイントを直に触らせて下さる。私も私もと触られた方は驚きの表情。中でも[ハミングから母音へ]の項目ではその振動を自在に増幅、減衰させ、[ハーモニーの音程]では第1倍音と第2倍音を同時に響かせ、音程が合っていても倍音構成が悪いとよく響かないのだと言われる。確かにバランスのとれた純正調の響きは美しいと実感。

そしていよいよ教材「夏は来ぬ」を各パートの練習から合唱に導かれる。「いい歌は風のように、旅するように、心で歌うのです。リズムや拍のゆらぎはお料理と同じ、レシピ通りではない。匙加減が大切」と。河合先生の「夏は来ぬ」は目の前に里山の風景が広がり、蛍が本当に飛び交う様。心で歌う共鳴した声は聴く人を幸せな境地に誘う。最後は全員での合唱。その表現は勉強の成果が感じられる気持ちよい響きで満たされ、来年もきっと参加しようとの思いを強くした。



2014年新春ウィーン演奏旅行

コーロ グリーチネ 平川かおる

「コーロ グリーチネ」は指揮者の蜂谷先生のもと総勢 37 名で初めての海外演奏旅行ウィーンへ行き、1 月 18 日に日本からの合唱団 5 団体と地元男声合唱団との『2014 年新春コーラスコンサート in ウィーン』に参加いたしました。

ウィーンは「世界遺産」・「音楽の都」、歴史的建物と古い街並みのとても美しい街でした。公演会場となった「楽友協会」はウィーンフィルハーモニー管弦楽団の本拠地と格式があり、「大ホール」は大きなシャンデリアと金色の装飾で黄金色に輝き、音は美しく響き、天から音楽が降ってくるかのような素晴らしいホールでした。

演奏会ではウィーンの公用語であるドイツ語で 2 曲、日本語で「ほたる」、日本の子守歌など 4 曲、20 分間の演奏をパフォーマンスも加え披露しました。

満席のお客様からは 1 曲ごとに大きな拍手と温かい歓声、演奏後は手を挙げての拍手喝采と好評をいただき、出演者一同感激と達成感いっぱいの幸せな体験となりました。

今回ウィーンと続くプラハでもお天気に恵まれ、演奏会の他にも名所観光、観劇、美術館、食事に買い物と楽しく過ごすことができ、感動と思い出多い最高の旅行となりました。

このような素晴らしい海外演奏旅行ができたことについて、蜂谷先生はじめご支援ご協力いただいた多くの方々、早く送り出してくれた家族と仲間から感謝お礼を申し上げます。またこのような機会が来ることを願い、団員一同これからも励んでいきたいと思っております。



【事務局通信】2

事務局への連絡について

事務局への連絡は以下のようにお願いします。

<郵送> 703-8262 岡山市中区福泊 168-7 内田方 岡山県合唱連盟

<電話> 内田携帯電話 090-4695-7826 (連盟の携帯電話(070-5673-1524)は廃止しました。)

<FAX> 086-274-2726

<メール> (内田 PC) utida244@yahoo.co.jp、(内田携帯) uchida244z@docomo.ne.jp

事務局のメールもありますが開かないことが多いので、私のアドレスに下さい。携帯電話も仕事中は出られません。留守電に切り替わりますので、団名とお名前だけ入れておいていただければ、後でかけます。

音楽著作権ア・ラ・カルト～その3

森脇英樹(岡山市民合唱団鷺羽)
(岡山行政書士著作権問題研究会)

(1)日本の音楽作品の海外での利用

◇最近、私たちアマチュア合唱団が外国に演奏旅行に出かけて、現地で日本の音楽作品を演奏することが頻繁に行われるようになりました。その場合、演奏の利用許諾申請手続きはどのようにすればよいのでしょうか。

◇国内での演奏であれば、その作品がJASRAC(日本音楽著作権協会)の管理している曲の場合、JASRACに手続きをしますが、海外で演奏するときは、原則として演奏を行う国の演奏権を管理する団体に利用許諾手続きを行い、許諾を受けてその団体の使用料規程に従った使用料を支払うことになります。JASRACがほとんどの国の音楽著作権を管理する団体と「管理契約」を締結していて、お互いの団体の作品(レパートリー)を管理し合っているからです。徴収された金額はその団体からJASRACに送金され、JASRACはそれを権利者に分配するという流れになります。

◇なお、演奏の様様を録音したCDなどを製作されることもあるかと思いますが、日本へ帰ってから日本国内で製作し、日本からの参加者に配布するような場合であればJASRACへの手続きだけでかまいません。

(2)著作権の保護期間と戦時加算

◇音楽も含めて著作権には一定の存続期間が定めら

れていまして(この期間を保護期間といいます)、その期間が過ぎればその著作物を誰でも自由に利用できるようになります。日本では現在原則として、「作者の生存期間」プラス「死後50年間」となっています。

◇ところがこれには大きな例外がありまして、それが「戦時加算」と呼ばれるものです。第二次世界大戦中、日本がアメリカ・イギリスなどの連合国とその国民の著作権を保護していなかったという理由で、通常の保護期間に上乗せして加算されています(アメリカ・イギリスなどに対しては10年あまり上乗せ)。

◇しかもこのような義務が課せられているのは日本に対してのみ、というのが問題です。戦争により著作権者の利益が保護されなかったという事態は、日本及び連合国に共通しているはずだからです。

時の経過により適用されるケースは次第に減少しつつあるとはいえるものの、不平等条約ともいえるこの制度は解消することが望ましいと私は考えています。

※参考資料

「JASRACの国際ネットワーク」(JASRACのHPから)
「著作権法入門」(文化庁編著 公益社団法人著作権情報センター刊)

【事務局通信】1

平成26年度岡山県合唱連盟行事予定(6月以降)

- 6月1日(日) 第67回岡山県合唱フェスティバル(岡山シンフォニーホール)
- 6月29日(日) 第37回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会
(岡山市立市民文化ホール)
- 8月3日(日) 第67回岡山県合唱コンクール(岡山市立市民文化ホール)
- 11月29日(土) 第3回全日本男声合唱フェスティバルin岡山、合同練習、交流会
(岡山シンフォニーホール、岡山県総合福祉会館)
- 11月30日(日) 第3回全日本男声合唱フェスティバルin岡山(岡山シンフォニーホール)
- 平成27年 2月8日(日) 第22回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト(早島町ゆるびの舎)
- 3月29日(日) 辻 秀幸合唱講習会(68回フェスにつながる講習会です。)

平成26年度・岡山県合唱連盟・理事会等業務分担表

理事長：小池 芳弘

副理事長：長尾 節子／松下 泰久／内田 毅

監 事：山本まさみ／井内 修

各部構成員(年間の事業運営は各理事が各団からの運営補助員さんと共に担当します。)

部	部長	次長	部 員			
総務部	石田 享子	野口 紀生	中川 洋子	(和氣政敏)		
進行部	坂手 勇作	西山 隆幸	中島 加恵	吉田 歩	森野 啓司	
会場部	平川かおる	藤原 努	岡下 愛子	斉藤 昭子	山下 日向	金井 庸記
審査部	内田 毅	脇本 恵子	山中 綾乃	山田 瑞穂	竹 理絵子	
接待部	友賀 泉	難波 夕鼓	松葉 節子	藤澤 成実		(石田 享子)
研修部	保田 薫	(脇本 恵子)	(松下 泰久)			

事務局スタッフ(5名の内4名が理事兼任です。円滑な事業運営が出来るよう頑張ります。)

事務局長：内田 毅／次長：石田 享子／会計：中川 洋子／局員：中島 加恵、和氣 政敏